



228号 発行所/ 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者/ 病院長 林 弘人 印刷/(株)アートネクスト

第75回 国立病院総合医学会 会長 上之原 広司 副会長 飛田 宗重 永野 功 WEB開催 2021 10/23

新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度に引き続きWEB開催となった「第75回国立病院総合医学会」に参加しましたので、ここに報告します。

第75回国立病院総合医学会に参加しました

国立医療学会は全国の国立病院機構の病院、国立ハンセン病療養所及び国立高度専門医療研究センターの職員を学会員としたもので、毎年1回総合医学会が開催されています。第1回は昭和21年に横須賀の地で開催された歴史のある学会です。

今回の学会のテーマは「社会の大転換期における国立医療 救う・支える、育む、拓く、連携と挑戦」です。今回の学会のテーマは「社会の大転換期における国立医療 救う・支える、育む、拓く、連携と挑戦」とされ、目下の課題である新型コロナウイルス感染症への対応と、東日本大震災から10年が経過した本年を節目とし、この間の地域、社会の変化についても考える機会を与えられました。

私も事務部門の組織について考えるシンポジウムに参加しました。私自身も事務部門の組織について考えるシンポジウムに参加しました。私自身も事務部門の組織について考えるシンポジウムに参加しました。



事務部長 難波 和弘

新型コロナウイルス感染症対策の感染拡大の抑制に向けての研究や最新の知見についてのお話を伺いました。もちろん災害医療や新型コロナウイルス感染症対策の幅広い分野の調査・研究の発表もあり、当センターからも消化器内科、看護部、リハビリテーション科、臨床工学

Table with columns: グループ名, 診療科名, 月, 火, 水, 木, 金, 特殊外来 ※要予約. Includes various medical departments and their respective staff members.

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 診療受付時間: 午前8:30~11:30 午後(各診療科外来にお問い合わせください) ※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)

事務部新人研修 病院見学

病院の中で、事務部がどのように関わっているのか、どのような役割を担っているか、新人職員が各部署を見学しました。



私は現在、事務部の企画課契約係として業務にあたっております。今回の病院見学実習を通して、

私は現在、事務部の企画課契約係として業務にあたっております。今回の病院見学実習を通して、



企画課契約係 古川 大雅



企画課外来係 森木 優佳



管理課職員係 河津 真帆

普段、入ることの無い部屋や、見る機会が無い設備を見学できたことで、各部署の仕組みや業務内容を改めて学ぶことができました。また、事務部との関わりについて、

各部署の役割を再認識でき、普段は見られない機器を目にすることで自分の業務がどのように各部署で役に立っているかを知ることができました。特に高額医療機器は性能だけでなく、算定がどれだけとれるかなどのメリットも考え、広い視野を持って契約業務に取り組みます。

今回、病院見学実習といった研修プログラムを受講いたしました。各部署の職場長から、施設内のことや仕事内容等について教えていただき、また、事務職員と現場の職員との仕事上の繋がりにについてもお話を伺いました。事務職員は、現場の職員と比べると患者さんと接することは少ないですが、事務職員として、物品の購入や修理といった事務的な面から支えることで、病院をより良くしていくことができると感じました。

新型コロナウイルス検査について

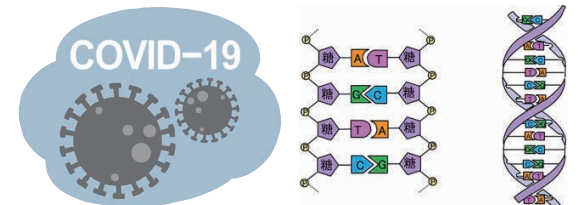
新型コロナウイルスの検査というと、皆さんがよく聞かれるのはPCR検査かと思いますが、



臨床検査技師長 内田 亨

PCR検査は新型コロナウイルスの遺伝子(核酸、RNA)の特徴的な部分を選びその部分を増やして検出する方法です。PCR(RT-PCR)検査は新型コロナウイルスの核酸がRNAであるためDNAに変換します。DNAが熱などによって2本鎖が1本鎖になつたものをそれぞれ2本鎖にするという反応を繰り返すことで、2本が4本、8本、16本と増やしていき、そのDNAを検出する検査です。核酸を増やすときに使用する酵素が違うものやRNAを直接増やして検出する検査もあります。通常はキット化され比較的簡単に検査できるようになっていることが多いですが、新型コロナウイルスのように変異ウイルスがある場合は、変異ウイルスの型までは判別できません。

抗原検査は表面や内部の特徴的な部分に対する抗体を作成し、それと反応させることによって検出する方法です。抗原と抗体が反応するとラインが出るようになっており、それを目で見て判定する定性検査と機器を使ってウイルス量も判断する定量検査があります。PCR検査と違い検査時間が15分程度と短いことが利点ですが、



PCRよりは検出感度が低いことが多いため、感染からの日数や症状の有無等を考慮し実施することが一般的です。抗体検査は抗原検査とは逆に感染することにより体内で特徴的な部分に対する抗体ができ、それを検出する検査です。感染し抗体ができるまでの時間は少ない検査です。今後はワクチン接種後の抗体量の測定等で実施することなどが考えられます。

海響マラソン第2弾 ドクターランナーに参加して



外科 近藤 潤也

2年ぶりとなる海響マラソンにドクターランナー28名、ナースランナー7名で参加しました。当日は気温が高く、久しぶりのフルマラソンには少し厳しい条件ではありましたが、コース上で動けなくなったり、転倒して怪我をされた選手の方を、ドクターランナーと救護所応援医師、看護師の連携でサポートし、大きな事故なく終えることができました。今後もチーム関門として安全な下関海響マラソンの開催をサポートしていきます！



研修医(2年) 石塚 洸太郎

3年前には市民ランナーとして出場した下関海響マラソンですが、今年は研修医でドクターランナーという立場で参加させて頂きました。自分自身がドクターランナーとしてできた活動は、ほんの僅かでしたが、



研修医(1年) 高瀬 早百合

初マラソンがドクターランナーとしての参加になりました。初ランナーとしては普段は車でわき目もふらずに通る道でも、自分の脚で進むからこそ感じられる下関の魅力に気づかされました。ランナー同士の激励、道沿いの暖かいご声援に、不思議と走る力が湧きました。

ボランティア

～社会福祉協議会表彰～

この度、関門医療センターボランティアの皆さんが、社会福祉協議会より表彰されました。院内の活動が、「社会福祉増進のための奉仕活動として市民の模範」と認められ、「善行表彰」をいただきました。皆さんの活動に感謝し、今後も協力して地域福祉に努めて参ります。



こんにちは! 糖尿病血液内科の松井です。

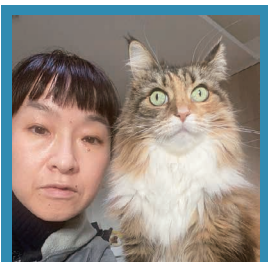
Q 出身地は? 山陽小野田市植生出身です。高校は下関西高でした。

Q 今行きたいところは? インドア派なので旅行したい場所はないですが、映画を見るのが好きなので映画館。12月にはマトリックス「レザレクション」の公開があり楽しみです。

Q おすすめの場所は? 火の山ロープウェイ。ロープウェイが好きなので。

Q 最近の趣味は? 今年の夏からズームで月1回の読書会に参加するようになって、月1冊読むのも苦労しています。アサークラークの「幼年期の終わり」と三島由紀夫の「金閣寺」が良かった!

Q 関門医療センターのことが好き! 好き、というかたたくさんの研修医がいるところはほかの病院にない特色だと思ふ。みんな仲が良くって羨ましい。私は指導医の立場で接していますが、指導することによって勉強になることが多いです。



美人のマリちゃんとおみつ 松井 久未子 診療科: 糖尿病・内分泌内科